看護技術演習

《担当者名》 横川亜希子 yokokawa-a@hoku-iryo-u.ac.jp 新見千穂 米川弘樹 原美希 松浦詠子

【概要】

看護技術各論 で学んだ内容に関連して、看護過程の概念をもとに基本的ニードを充足する基礎看護技術を習得するための演習を行う。

【学修目標】

- 1.対象者の全身状態を理解するための観察技術を習得する。
- 2. 看護過程における分析解釈の方法を習得する。
- 3.看護過程の概念をもとに基本的ニードを充足する援助方法について実践し探究する。

【学修内容】

テーマ	授業内容および学修課題	担当者
ļ · · · ·		
1 .看護アセスメント 	1) 面接の技法 	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	2)バイタルサインズの測定	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	3)フィジカルアセスメント(呼吸)	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	4) フィジカルアセスメント(循環)	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	5)フィジカルアセスメント(腹部)	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	6)フィジカルアセスメント(筋・骨格)	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	7)フィジカルアセスメント(神経)	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	8)事例の分析解釈(1)	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	9)事例の分析解釈(2)	横川・新見・米川・原 松浦
1 .看護アセスメント	10)事例の分析解釈(3)	横川・新見・米川・原 松浦
2.清潔の援助	1)洗面・口腔ケア	横川・新見・米川・原 松浦
2.清潔の援助	2)洗髮	横川・新見・米川・原 松浦
2.清潔の援助	3)全身清拭	横川・新見・米川・原 松浦
2.清潔の援助	4)陰部洗浄	横川・新見・米川・原 松浦
2.清潔の援助	5) 足浴	横川・新見・米川・原 松浦
	1.看護アセスメント 1.看護アセスメント 1.看護アセスメント 1.看護アセスメント 1.看護アセスメント 1.看護アセスメント 1.看護アセスメント 1.看護アセスメント 2.清潔の援助 2.清潔の援助 2.清潔の援助 2.清潔の援助	1.看護アセスメント 1)面接の技法 1.看護アセスメント 2)パイタルサインズの測定 1.看護アセスメント 3)フィジカルアセスメント(呼吸) 1.看護アセスメント 4)フィジカルアセスメント(腹部) 1.看護アセスメント 6)フィジカルアセスメント(筋・骨格) 1.看護アセスメント 7)フィジカルアセスメント(神経) 1.看護アセスメント 8)事例の分析解釈(1) 1.看護アセスメント 9)事例の分析解釈(2) 1.看護アセスメント 10)事例の分析解釈(3) 2.清潔の援助 1)洗面・口腔ケア 2.清潔の援助 3)全身清拭 2.清潔の援助 4)陰部洗浄

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実技試験50% 筆記試験35% 提出課題15%

【教科書】

- 1) 宮脇美保子編:基礎看護学 看護学概論 第4版、メデカルフレンド社、2017
- 2) 深井喜代子他:基礎看護学 基礎看護技術 第5版.メデカルフレンド社,2017.
- 3) 深井喜代子他:基礎看護学 基礎看護技術 第4版.メヂカルフレンド社,2017.
- 4) 三上れつ,小松万喜子,小林正弘編:ヘルスアセスメント 臨床実践能力を高める 改訂第2版.南江堂,2017.
- 5) 香春知永,齋藤やよい編:基礎看護技術 看護過程の中で技術を理解する 改訂第3版.南江堂,2018.
- 6) 吉田みつ子,本庄恵子監修:写真でわかる基礎看護技術 アドバンス.インターメディカ,2016.
- 7) 野中廣志:看護に役立つ検査事典 新版,照林社,2015.
- 8) 医学情報科学研究所:フィジカルアセスメントが見える 第1版.メディックメディア,2015.

【参考書】

- 1) V.ハンダーソン, 湯槙ます他訳:看護の基本となるもの 再新装版.日本看護協会出版会,2016.
- 2) E.ウイーデンバック他, 池田明子訳: コミュニケーション 効果的な看護を展開する鍵 新装版.日本看護協会出版会,2007.
- 3) F.ナイチンゲール 湯槇ます他訳:看護覚え書 改訳第7版.現代社,2011.
- 4) R.アルファロ, 本郷久美子監訳:基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版. 医学書院, 2012.

【備考】

- ・具体的な学習内容に関しては、別途配付される演習15回分の「学習要項」を参照する。
- ・授業形態はグループ学習を主体とし、実技演習およびグループワークを行う。

【学修の準備】

・各回で1時間の事前学習と事後学習を行う。学習要項の事前学習および事後学習の内容を確認して取り組むこと。

事前学習:テキスト関連箇所の熟読、映像の視聴、ワークシート課題の記入

事前に提出を要する課題学習は、期限までに提出する。

事後学習:ワークシート課題と演習内容の自己学習および継続学習課題

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

横川 亜希子(看護師) 新見 千穂(看護師) 米川 弘樹(看護師) 原美希(看護師) 松浦詠子(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

病院での看護師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。